

【2015 年度 RFLJ プロジェクト未来 助成研究者の横顔 14 津端 由佳里先生】

第 14 弾は「患者・家族のケアに関する研究」（Ⅱ分野）よりご紹介致します。

◆島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科

◆研究テーマ「高齢がん患者に対する治療の最適化を指向した総合的機能評価ツール
(CGA ; comprehensive geriatric assessment) の開発」

◆助成金額 50 万円

1. 研究者になろうとしたきっかけ

腫瘍内科医を目指したきっかけは、がん対策基本法に患者の声を盛り込むべく奔走された、島根県出身の 故・佐藤均さんとの出会いです。

2. 助成研究の内容紹介（素人にも解るようにお願い致します）

今後、より高齢化が進むわが国で、がん患者さんも高齢化していますが、高齢癌患者さんにより適切な治療を提供できるよう、治療開始前に治療による効果や副作用が予測できるような問診システムを作成するための研究です。

3. 2 の将来に繋がる 結果予想

このシステムが完成し国内に普及すれば、ご本人とご家族に納得いただける最適な治療法を提案することが可能となると考えています。

4. 全国の RFLJ 関係者に一言

この度は研究助成をいただけるとのことで大変喜んでます。島根県はがんサロンを始めとする、患者さんの活動が盛んな地域ですので、ぜひ山陰でも RFL の開催をご検討ください！